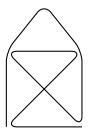
TikZでいろいろ作図した話

宇佐見 公輔

2024年6月29日

TikZとは

TikZは、LaTeXで図を描画するためのパッケージです。



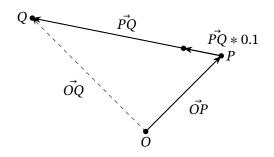
```
\tikz \draw[thick,rounded corners=8pt]
(0,0) -- (0,2) -- (1,3.25) -- (2,2) -- (2,0)
-- (0,2) -- (2,2) -- (0,0) -- (2,0);
```

作図例1

実際の技術記事で描いた図の例を挙げます。

TikZ のコード:

https://github.com/usami-k/qiita-contents/
tree/main/images/2024-rust-nannou-2



作図例1:コード(1/4)

0 0 \begin{tikzpicture} %%% 座標の定義 \coordinate (0) at (0,0); \coordinate (P) at (2,2); \coordinate (Q) at (-3,3);

作図例1:コード(2/4)

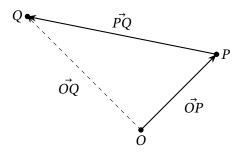
 $Q \bullet$

P

)

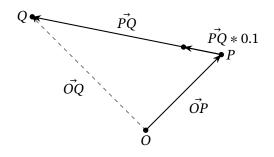
```
%%% 点の描画
\fill (0) circle (2pt) node[below]{$0$};
\fill (P) circle (2pt) node[right]{$P$};
\fill (Q) circle (2pt) node[left]{$Q$};
```

作図例1:コード(3/4)



```
%%% ベクトルの描画
\draw[thick,-{Stealth}] (0)--(P) node[...]{$\vec{0P}$};
\draw[dashed,-{Stealth}] (0)--(Q) node[...]{$\vec{0Q}$};
\draw[thick,-{Stealth}] (P)--(Q) node[...]{$\vec{PQ}$};
```

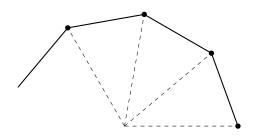
作図例1:コード(4/4)



```
%%% 内分点の描画 (TikZ の座標計算の機能を使う) \path (P)--(Q) coordinate[pos=0.2] (P2); \fill (P2) circle (2pt); \draw[thick,...] (P)--(P2) node[...]{$\vec{PQ}*0.1$};
```

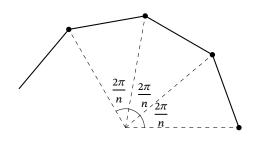
\end{tikzpicture}

作図例2:極座標での指定



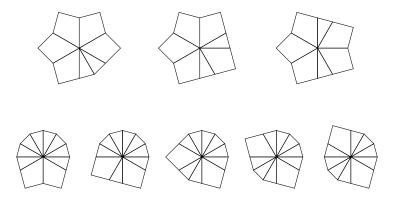
```
%%% 極座標での指定 (角度: 半径) \coordinate (P0) at (0:3); \coordinate (P1) at (40:3); \coordinate (P2) at (80:3); \coordinate (P3) at (120:3); \coordinate (P4) at (160:3);
```

作図例2:角の図示



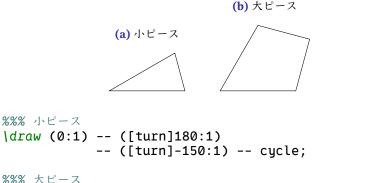
作図例3:Square-1の作図

前回の日曜数学会で Square-1 の話をしたときも、TikZ で描いていました。



作図例3:小ピースと大ピース

%%% 小ピース



\draw (0:1) -- ([turn]180:1) -- ([turn]-120:1)

-- ([turn]-75:0.707) -- cycle;

作図例3:相対座標による小ピースの描画

(b) 始点の変更

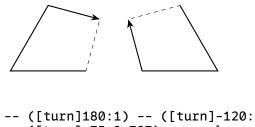




```
%%% 小ピース
\draw (0:1) -- ([turn]180:1)
-- ([turn]-150:1) -- cycle;
%%% 始点の変更
\draw (120:1) -- ([turn]180:1)
-- ([turn]-150:1) -- cycle;
```

作図例3:相対座標による大ピースの描画

%%% 大ピース



(a) 大ピース (b) 始点の変更

\draw (0:1) -- ([turn]180:1) -- ([turn]-120:1)
-- ([turn]-75:0.707) -- cycle;

%%% 始点の変更
\draw (120:1) -- ([turn]180:1) -- ([turn]-120:1)
-- ([turn]-75:0.707) -- cycle;

作図例3:マクロを活用してピースを並べる



作図のために LaTeX + TikZ を使う

TikZ は普通、LaTeX 文書上で図を描くために使います。

しかし使い方を覚えると、LaTeX 以外でも活用したくなります。

そんなときも、次のようにすれば対応できます。

- LaTeX + TikZ で図を描く
- 描いた図を PDF にする (preview パッケージが便利)
- 3 PDF を画像に変換する(各種変換ツールを利用)

この方法で、TikZを作図ツールとして使って技術記事などで使いました。

まとめ

TikZ のテクニック:

- 座標計算 (内分点)
- 極座標での指定
- ■角の図示
- 相対座標での指定
- マクロの活用

ほかにもいろいろな機能があります (TikZのマニュアルはなかなかに膨大な量です)。